

当面の日程

- 5日 県本部青年女性2022現業・公企統一闘争交流集会
(ひょうご共済会館)
5日 2022現業・公企統一闘争勝利! 県本部総決起集会
(県民会館)
7～8日 第39回地方自治研究全国集会 (静岡市)
14日 現業・公企全国統一行動日
15～16日 第34回コミュニティ・ユニオン全国交流
集会in札幌 (北海道自治労会館)

自治ひょうご



全日本自治団体労働組合 兵庫県本部

〒650-0004 神戸市中央区中山手通3-4-8 大東ビル TEL078-392-0820 FAX 078-392-0920
http://www.jichiro-hyogo.jp/ E-mail: jhyogo@jichiro-hyogo.jp

1616号

2022. 10. 1

月2回(1日、15日)発行 定価10円

購読料は組合費に含まれる。

自治労兵庫県本部

書記長/尾西亮太郎・編集人/秦 信昭

県本部人権研修会

差別について基本に立ち返る

一人ひとりの人権が尊重されるためには



栗本さんより講演を受けた

県本部は平和人権環境委員会が主催した人権研修会を9月14日、ひょうご共済会館で開催した。

近年、部落問題に関する職員研修が減少し、差別の現実や部落問題に対する正しい知識を学ぶ機会がない職員が増えている実態を受け、自治体での人権研修のあり方や活性化のために、人権教育・ESDファシリテーターである栗本知子さんを講師にワークショップを中心とした人権研修を実施した。

「10人の親しい人」を書き出すワークショップでは、その書き出した10人の男女比・国籍・障がい者など、様々な出会いの中での価値観や自分との違いを想像することによって新たな発見・多様性に気づくこと学んだ。

世界人権宣言で「全ての人間が生まれながらに基本的人権をもっている」と初めて認められたが、講師は人権についてシビアな概念と述べた。また、差別については「本人の努力によってどうすることも出来ない事からで不利益な扱い」とも述べ、「世の中の価値・考え方を変えないと差別はなくなる」とも述べた。

町職連協総会

各交渉課題と組織強化に注力

町職間の情報共有で前進をめざす



10単組32人が参加し課題を共有

町職連協は9月17日、神戸市内で10単組32人の参加のもと第51回総会を開催した。組織強化を目標に交流会やレクリエーションを企画すること、定年延長に伴い65歳まで働き続けられる職場づくりを進めることを確認した。

開会にあたって金丸武史議長は、「定年延長、22確定闘争を控え、各単組の交渉力が問われている。町職連協で情報を共有して前進をはかる」とあいさつした。

議長提起を行った笹倉翼事務局長は、23年度の取り組みとして、町職単組交流集會を行い組織課題を議論すること、レクリエーションを通して単組間の交流をはかることを強調。22確定

闘争に向けては、町職連協統一要求を提起し、全町職で「要求―交渉―妥結」に向けた取り組みを進めようと呼びかけた。

質疑では、「組織内町長のもと地域手当維持、7級制導入などを勝ち取ってきた。生涯賃金で見ると大きな成果。政治闘争を背景に労働条件を向上させよう」と(稲美)との発言があった。

ない事からで不利益な扱い」とも述べ、「世の中の価値・考え方を変えないと差別はなくなる」とも述べた。

語った。参加者からは、「これまで以上にもしっかり想像力をもつて対応することが大事」との発言があった。

事「社会の中の様々な属性の人の立場に立ち、考えていくことが大切」などの感想が寄せられた。

しこう

政治と宗教の話を避けるように言われることがある。熱心な勧誘がコミュニケーションの人間関係を壊した経験からくるのだろう。阪神淡路大震災が起きた年、地下鉄サリン事件の発生で、報道の関心は宗教団体へ一気に変わった。宗教自体を敬遠する空気はあの頃からだろうか▼ある宗教家が「信じれば良い、ただ何かの名目でお金を要求する宗教は避けよう」と話していた。



松本 真紀子

青年部総会

学習と交流をさらに強化 23年度は新たな取り組みにチャレンジ

県本部青年部は第26回定期総会を9月17日、ひょうご共済会館で開催した。

総会冒頭、主催者を代表して今村龍乃介青年部長は「政治闘争として独自で開催した鬼木まことスイーツミーティングは成功裡に終わった。コロナ禍であったが、地域交流会を対面開催し課題共有と単組間のつながり作ってきた。この取り組みをブラッシュアップしていきたい。交流と学習は青年部の特権」とあいさつした。

また来賓として県本部から戎剛副委員長から激励のあいさつを受けた。その後、執行部から2022年度経過報告と総括、2023年度方針が提起された。

参加代議員からは「交流会で組合加入の議論」「中央大交流集会で全国の仲間と繋がるのができた」「地域別交流会を引き続き開催を希望」「ブロック独自の交流会実施」など取り組み報告や新年度への取り組みの要望があった。執行部からは「組合員同士が希薄化してい

る。絆を深める取り組みを強めていく」と答弁した。

今総会では一部、役員交代があり、香美町職の北脇修平さんが書記長に選出された。



新たに書記長となった北脇さん(中央)



島に漂着するゴミを調べる参加者

県本部平和・人権・環境委員会と公営企業評議会が共催した自治労第38回水週間の取り組みとして、8月6日に9単組25人が参加のもと、洲本市由良の成ヶ島において「国立公園成ヶ島の自然環境を再び学ぼう」を開催した。

主催者あいさつとして、西本斎弘公企評議長は「コロナ禍の中、3年ぶりの自治労水週間の取り組みとなった。11年前にも成ヶ島の自然環境を学ぼうツアーを行ったが、その後どのような変化があるのか？再度学

習したいと思う」とあいさつを行った。

その後、高台にある展望台まで山歩きし、国立公園成ヶ島の自然を守る会の花野見一さんから「淡路橋立の全景」の説明を受け、昼食休憩後、湿地帯の浜まで移動し「11年前から島に漂着するゴミの種類は、家庭ゴミの分別収集が進んでいるがそんなに変化が無く、マイクロプラスチックゴミ等の漂着により島固有種の動植物の環境保護に危惧を感じる」と説明を受けた。今回は家族での参加が多

自治労水週間

家族で環境保護を学ぼう

貴重な自然に触れ、漂着ゴミの問題を実感

く「貴重な自然環境を守ることの大切さが実感できた」との感想が出された。

黒豆収穫祭、枝豆・黒豆 注文中止について

すでに各組合員より枝豆・黒豆のおよび収穫祭への参加申し込みをいただいておりますが、生産者のご逝去により、今年は中止となります。ご理解とご協力をお願いします。

女性部総会

定年まで働き続けるために 分散会で議論を深める

県本部女性部は第26回定期総会を9月17日に神戸市教育会館で開催した。

来賓として県本部の青木久美子副委員長は「参議院選挙の結果から、声をあげていくことが重要。また、確定闘争の取り組みを進めよう」とあいさつした。また、働く女性の交流集会実行委員会の小城智子さんは「格差解消をめざしていこう」と激励した。

総会議長には丹波市職労の山下博子代議員を選出。経過報告、運動方針を執行部が提起し、承認を受けた。その後、分散会として「定年まで働き続けるために、私たちができること」について意見交換をおこなった。

「人間関係」「フォロー体制」「モチベーションの維持」などのキーワードが飛び交い、議論を深めた。役員体制が一部変更とな



分散会で意見交換を行った

り、副部長に西垣戸蒼海さん(丹波篠山市職労)、書記長に森岡典子さん(たつの市労連)を選出した。

全国野球大会

宝塚市職労が奮闘

全国でベスト8に輝く

全国野球大会が4年ぶりに9月8〜11日、新潟県で開催され全国から22チームが出場し近畿地連棒として宝塚市職労が出場。1回戦で石川県の小松市職と対戦。宝塚は初回に1点を先取されたものの、2回に相手のエラーで同点すると、終盤にも追加点を挙げ7対3で勝利した。

2回戦は新潟県の十日町市労連との対戦。宝塚は初回に3番中島選手が3ランホームランを放ち先制。その後も得点を重ね、投げては先発の細見選手が前日に続き完投し、8対3で準々決勝に進んだ。

30分後の準々決勝は北海道の北広島市職労と対戦。勤務の関係でメンバーが減る中、ぎりぎりの人数で試合を進めたが、17対0で完敗したものの、全国大会ベスト8となった。



細見選手



中島選手

手続き 忘れて ませんか？

☑自動車を変えた方、
「30日以内」に手続きが
必要です！

契約対象となる自動車を持ち替えた場合、新車両の取得日の翌日から30日以内に車両変更の手続きをお願いします。

☑30日以内に届け出がなく事故を起こされた場合、
共済金をお支払いできません。

※車両変更とは、自動車の新規取得において、被共済自動車の廃車・譲渡・返還が生じた場合です。

☎ 不明な点があればまずは所属する組合にご連絡ください。

こくみん共済 NEWS
5120A074

じちろう
マイカー共済
自動車総合補償共済

こくみん共済(全労済) 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済 推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。